

指導員としてのあり方について

「放課後児童クラブガイドライン」より

指導員として必要な人柄

- ・こどもに対して平等に愛を注ぎ、大切に思える
- ・こどもから信頼され、安心感を与える
- ・秘密を口外せず、約束は必ず守る
- ・相手の気持ちを考えながら会話する

ルームの機能と役割

- ・こどもの健康管理、安全確保、情緒の安定
- ・意欲と態度の形成
- ・自主性、社会性、創造性を培う
- ・活動状況の把握と家庭への連絡
- ・遊びの環境づくり

指導員の倫理

- ・人権の尊重とこどもの性別・個人差への配慮
- ・身体的、精神的苦痛を与える行為の禁止
- ・保護者との信頼関係の構築
- ・個人情報保護とプライバシーの保護
- ・資質の向上
- ・公共性の確保

保護者の要望

- ・遊ぶ仲間がいる、友達が増える
- ・安心して任せられる
- ・こどもが指導員を好き
- ・あたたかい目で見られる
- ・家庭で経験できないことを体験できる

指導上の留意事項

- ・ルームとは、遊びと生活の場を与え健全な育成を図る場所である
- ・放課後は、こどもの生活領域の中で遊びを主にする時間帯である
- ・身の回りの整理整頓、清潔の維持、宿題などの自主学習などを行う
- ・心と身体を目いっぱい動かして遊ぶことは児童期の発達課題
- ・こどもがすすんでルームに通い続けられる環境の整理
- ・こどもが自分で遊びを選択したり創造したりできる環境
- ・こどもの意見を尊重すること
- ・指導員は、こどもから信頼され、豊かな人間性と倫理観を備えなければならない

以上